

梅雨入りを間近に控え、はっきりしない天候が続きますが、こういう時期こそ明るく元気に過ごしたいものです。1年生は部活動に入部してから約1ヶ月が過ぎました。また、3年生は最後の大会まであと1ヶ月となりました。現時点では、進路について考える暇もないほど部活動に集中していることでしょう。自分の進路について意識しながら生活を送ってほしいものです。

さて、前号では公立高校と私立高校の違いなどを紹介しましたが、今回は、課程（学習の仕方や登校時間など）の違いを紹介したいと思います。

<今月の目標>

1年生：私たちの将来の希望について話し合おう。

2年生：職業とは何かを話し合おう。

3年生：進路選択にそなえて自分について見つめ直してみよう。

高等学校の主な課程は以下の通りです。

①全日制課程

もっとも一般的な課程で、朝登校し、夕方まで授業を行います。1日に5時間から8時間程度の授業をします。学科も多数設置しており生徒の多様な個性や社会の変化などに対応しています。

近隣のほとんどの高校が、この課程を設置しています。

②定時制課程

もともとは、働きながら高校卒業の資格を取りたい人のために設置された課程です。夕方から授業を始め、終わりは夜になるケースがほとんどです。夕方給食が出る学校も多いです。（ほとんどの全日制高校は、昼の給食がありません。）

近隣の高校では、佐原高校（普通科）、銚子商業高校（商業科）にあります。

③通信制課程

学ぶ意欲がありながら、様々な事情で働きながら、または家庭にいながら学ぶための課程です。自宅学習が中心で、学校によりますが月2回程度の登校日に、授業を受けたり、レポートを提出し

たりして学習を進めます。基本的には4年間以上かけて卒業しますが、定時制との提携などで3年間で卒業する道もあります。

茨城県立水戸南高校（水戸市）、鹿島学園通信制課程などにあります。

④単位制高校（全日制型）

昼間に授業を受け、3年間で卒業するという意味では通常の全日制と同じですが、受ける授業を自分で選び（必修科目をのぞく）、自分だけの時間割を作成して学習を進めるという点で異なります。生徒は毎時間教室を移動することになり、大学に近いシステムといえます。

近隣では、佐原白楊高校がこのシステムを導入しています。

⑤単位制高校（定時制型）

受ける授業や時間割を自分で決めるという点は、全日制型単位制高校と同じですが、完全に「学年」という考え方を取り払い3年以上で必要な単位を取得すれば卒業できるというシステムです。

鹿島灘高校では、午前部・午後部・夜間部の3部制を採用しており、生徒はどこかの部に在籍しますが、別の部の授業を受けることも可能です。修学旅行や体育祭などもあります。3年間で卒業するためには、上手に時間割を組んで、試験に合格する必要があります。

⑥高等専門学校（高専）

高専は、専門学校や高等専修学校と名前が似ていますが、制度上ははっきりと区別され、大学や短大と同じ高等教育機関です。中学校卒業後、5年（または5年6カ月）制の高等教育を受けることになります。高専を卒業すると『準学士』と称されます。また4年制大学への編入学受験資格が得られます。茨城県内には、ひたちなか市に茨城工業高等専門学校（茨城高専）があります。入寮することもできます。

一概に、「高校」といってもいろいろあることがわかります。高校に関する情報をたくさん取り入れるようにしたいですね。

～すすんで高校見学や体験入学をしよう～

希望する学校を知るためには、身近な先輩の生の声を聞くのが一番です。また、自分の将来を見通し、よりよい高校生活を送るためには、自分の目で確かめることも必要です。

夏期休業中に特にほとんどの学校で、中学3年生を対象に、一日体験入学を実施しています。その学校や、授業の中身を直接知る上でまたとない機会です。ぜひ、すすんで体験入学に参加してみましょう。そして、1校だけでなく複数の高校に足を運びましょう。



